

行政評価等プログラム：総務大臣が、毎年度の行政評価局の調査テーマ、業務運営方針について決定

1. 調査テーマ

令和3年度に実施する**13の調査テーマを決定**（別紙）

- ・大規模災害の頻発を踏まえ、行政の実態やその課題を明らかにするもの（自衛隊災害派遣、農業災害復旧など）
- ・人口減少や高齢化に伴う変化への対応を迫られる行政の実情に焦点を当てるもの（一人暮らし高齢者、墓地行政など）

2. 業務運営方針

ポストコロナにふさわしい評価を目指し、提言※を踏まえ、以下に取り組む。

(1) 行政評価局調査

- ・関係機関による迅速な対応・改善を重視した調査結果の適時適切な伝達
- ・ポストコロナの社会の大きな変化を踏まえ、従来の行政の仕組みを問い直すような分析に挑戦
- ・今後、中期的に取り上げる視点として、デジタル化や、公的活動を支えてきた行政ボランティアなど設定

(2) 政策評価の推進

- ・目標管理型評価の見直しや、多様な評価方法のベストミックスの実現の検討
- ・外部の有識者の知見を積極的に活用した、政策評価におけるEBPMの実践の促進

(3) 行政相談

- ・行政相談委員制度60周年を契機とした広報・周知、利用促進活動の徹底
- ・行政相談委員活動における地方公共団体との連携の促進

令和3年度の行政評価局調査予定テーマ

【令和3年度】13テーマ

(早期に着手するもの)

○ 自衛隊の災害派遣

- 被災者に対する支援をより効果的に届けるための環境整備に資する観点から、防衛省・自衛隊と地方公共団体との間における過去の災害派遣時の連携状況や、平素からの連絡・調整状況等の実態を把握し、課題を整理する。

○ 農業分野における災害復旧の迅速化

- 被災農家が一刻も早く営農を再開できるよう、農林水産省等による被災地支援の状況や災害復旧工事に至るまでの業務プロセス等について調査し、実態を踏まえた課題を整理する。

○ 生活困窮者の自立支援対策

- NPOなどの支援団体の活動を含め、生活保護に至る前の生活困窮者の把握や自立支援に係る取組を調査し、現状と課題を整理する。

◎ 不登校・ひきこもりの子供支援

- 義務教育段階の不登校・ひきこもりの子供を対象とし、複数府省にわたる各種支援施策・事務事業等の実施状況や効果を把握し、子供に寄り添う視点から総合的に評価する。

(左記以外のもの)

○ 災害時の道路啓開

○ 陸^{りっこう}の管理

○ 一人暮らしの高齢者に対する見守り活動

○ 指定管理者制度

○ 墓地行政

○ 社会情勢の変化への補助金等における対応

○ 政府職員に対する情報セキュリティ教育

○ スマート農業

○ 外国人の日本語教育

(参考)令和4年度以降

- ため池の安全対策等
- 家畜伝染病対策
- 防災気象情報
- 災害時における有害化学物質の流出拡散防止対策
- 成年後見制度の利用促進
- ヤングケアラー
- 遺留金
- 夜間中学の外国人教育
- マンション管理
- 高齢者居住安定
- ◎ 生活エリアにおける交通安全対策
- フードバンク活動
- 美容医療広告の規制対策
- 都市農地の保全・活用
- 森林経営管理
- 海洋汚染対策

(注)・「◎」は「総務省が行う政策評価」を、「○」は「行政評価・監視」を示す。

- ・ 状況に応じて、機動的な調査を実施
- ・ 調査テーマについては、年度途中においても必要に応じて見直し